

いりょうの ひろば

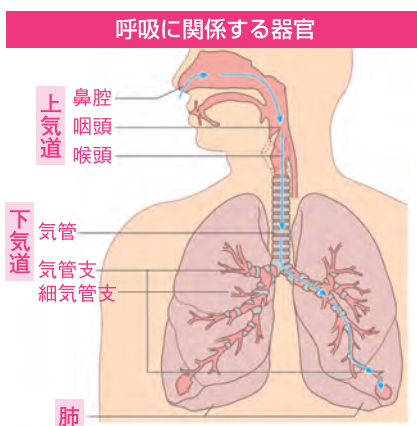
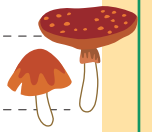
Vol.
229
2017.11.25

■1面 RSウイルス感染症
について

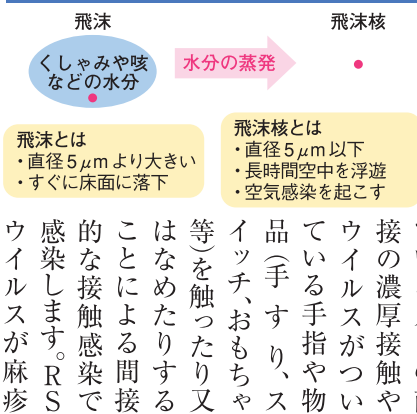
■2面 がん患者の風邪予防

■3面 地域医療連携
「堤レディースクリニック」

■4面 臨床修練病院指定について
地域医療連携検討会



飛沫感染と空気感染(飛沫核感染)



飛沫核とは、直径5μm以下の微小な粒子で、長時間空中を浮遊し、空気感染を引き起こす。一方、飛沫は直径5μmより大きく、すぐに床面に落下する。飛沫核は、飛沫が乾燥して水分が蒸発した後に残る。飛沫核は、空気中に長時間浮遊し、空気感染を引き起こす。飛沫核は、飛沫が乾燥して水分が蒸発した後に残る。飛沫核は、空気中に長時間浮遊し、空気感染を引き起こす。

冬は、インフルエンザをはじめ「上気道炎」の患者さんが増加する時期です。一口に「急性上気道炎」といってもその原因となるウイルスはかなりの種類があります。ヒトの呼吸器に感染する主なウイルスは、上気道だけでなく全身症状をも呈するインフルエンザウイルス、低年齢児では肺炎や気管支炎にもなるRSウイルスやヒトメタニューモウイルス、一般的に言われる「風邪」の大半を占めるライノウイルスのほか、コロナウイルス、パラインフルエンザウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルスなどがあげられます。それぞれのウイルスには複数の型が存在するため、軽い風邪なども含めると百種類以上のウイルスにかかる可能性があります。臨床症状からはどのウイルスに感染

しているのかを特定することは難しく、病院で検査できるウイルスの種類も限られています。この中でも特に乳児に感染すると注意が必要なウイルスの一つにRSウイルスがあります。夏のおわりから春までの長い期間にわたり流行が続き、例年流行は冬期がピークで夏期は少ないのですが、平成29年度は9～10月にRSウイルスの流行がありました。1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が初感染を受けるとされています。感染しても免疫ができていくため、毎年流行をくりかえします。RSウイルス感染症はRSウイルスに感染している人が咳やくしゃみ、又は会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込む飛沫感染や、感染している人との直接的な濃厚接触や、ウイルスがついている手指や物品(手すり、スイッチ、おもちゃ等)を触ったり又はなめたりすることによる間接的な接触感染で感染します。RSウイルスが麻疹

や水痘、結核のように空気感染・飛沫核感染するといった報告はありませんが、RSウイルスに感染しても、軽い鼻かぜ程度でおさまることがほとんどです。乳幼児が感染した場合も、通常は38～39度の発熱や鼻水、せきなど普通のかぜの症状が出て、8～15日くらいで治ります。しかし、なかには細気管支炎や肺炎などの下気道と呼ばれる深いところに炎症がおよぶことがあります。はじめてRSウイルスに感染した乳幼児の25～40%に細気管支炎・肺炎をおこし、0.5～2%の乳幼児が呼吸困難などにより入院しています。治療は症状を和らげる対症療法が中心であり、ワクチンや抗ウイルス薬は現時点ではありません。そこで手洗い、うがい、マスク着用などの感染予防が重要になってきます。しかしRSウイルス感染症と気付かれない軽症例も多く、家族間の感染や乳幼児の集団生活施設等での流行を効果的に抑制することは困難である場合が多いのが実情です。乳幼児が感染した場合は重症化しやすいので、もし乳幼児がかぜをひいて、熱が続く、水分がとれない、また呼吸がしんどいなどの症状があれば医療機関を受診することをおすすめします。

RSウイルス 感染症について

小児科の視点から



小児科 部長
橋村 裕也

がん患者の 風邪予防について

がん病態栄養専門管理栄養士 西田 有里

1980年代以降「がん」は日本人の死因第1位を継続しており、2人に1人が「がん」になる時代になりました。

当院は大阪府がん診療拠点病院であり、手術・放射線療法・化学療法などの治療中の方が多くおられます。治療による影響や精神的な苦痛など、いくつかの原因が相まって、食事が食べづらくなったり、食べているつもりでも、内容に問題があり、栄養不良に陥りやすい方に多く出会います。そんな患者さん方に、外来・入院栄養指導を通じて、定期的にお会いすることで、入院時と自宅で過ごされている間の食事内容を把握し、体力を維持するための食べ方を提案したいと考えています。

秋も終わりに近づき、より寒さを感じる季節になりました。 風邪をひきやすい時期になりましたね！

風邪予防のオススメメニューをお伝えします★予防には、免疫力を上げることが重要です。免疫力とは、体の病気や病原菌に対する抵抗力・戦う力を意味します。一時的に弱っても速やかに回復することができるよう、免疫力を高めましょう！

体を温める

風邪予防メニュー

- ・野菜たっぷり湯豆腐
- ・具沢山鍋焼うどん
- ・しょうが入り中華あんかけスープ
- ・鶏団子ぞうすい など

ビタミン豊富な白菜・卵を入れて、生姜をトッピングして食べると体が温まります。(生姜チューブを使うと便利です！)

腸内環境を整える

バナナヨーグルト

- バナナヨーグルト入りの
- ・コーンフレーク、グラノーラ
- ・スムージー
- ・パンケーキ
- ・フルーツサンド など

バナナに含まれる自然のオリゴ糖と、ヨーグルトの乳酸菌が腸内細菌のエサとなり、免疫力アップに繋がります。



12月9日(土) 14:00~高槻現代劇場で「自分らしく「がん」と生きる」をテーマに、看護師や薬剤師よりお話しします。もちろん管理栄養士からも食事の選び方についてお話ししますので、ぜひご参加ください。

高槻病院
第22回 市民公開講座
【自分らしく「がん」と生きる】
～患者さんごとの疑問～
日時 2017年12月9日(土) 無料
14:00~16:30 (13:30受付開始)
会場 高槻現代劇場 (文化ホール3階会議室)
〒569-0077 高槻市野洲町2-33 ☎072-671-1061
定員 200名 申込締切 11月24日(金) *当日参加可能です
14:00~15:45
・「体におこる症状を知り、自分にあった食事を摂ろう！」
管理栄養士 西田 有里
・「自宅でも出来るリハビリテーションってどんなこと？」
リハビリテーション科 主任 西田 昌彦
・「くすり」とうまく付き合うために 薬剤科 副主任 西田 大輔
・「医療者と本音で話していますか?」教えて下さい。あなたの気持ち
看護病棟看護 科長 池上 祥
・「住み慣れた地域で暮らすために」
患者相談室 副主任 宮城 優子
16:00~16:30 【総合討論会】質疑応答
お問い合わせ・お申込み TEL: 072-681-3801 (9~16時)
高槻病院 地域医療部 FAX: 072-681-3831
Email: takakouza@ajk.takatsuki-hp.or.jp
主催 社会医療法人愛仁会 高槻病院 後援 高槻市 高槻市医師会

臨床修練病院指定について

研究研修センター事務科 科長 車田 絵里子

この度、高槻病院は平成29年8月24日付にて「臨床修練病院」として厚生労働省より指定を受けました(写真1)。日本の医師免許を持たない外国人医師は日本国内で診療行為を行うことが認められていませんが、医療分野における国際交流の進展と発展途上国の医療水準の向上のため、医療研修を目的に来日した外国人医師が当該研修で診療を行うことを特例的に認める「外国人臨床修練制度」があります。

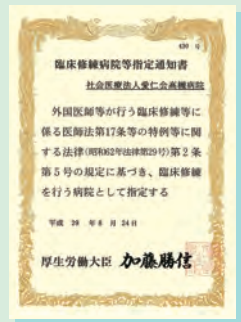


写真1 臨床修練病院指定通知書

高槻病院では、平成28年に小児医療における診療連携、人事交流、共同研究を目的とした連携協定をサミティヴェート病院/タイ・バンコクと締結するなど(写真2)、当院においても昨今国際交流が盛んになっており、外国人医師が病院見学に留まらず実質的な医療研修ができるよう、この度の臨床修練病院指定取得に至りました。



写真2 平成28年2月10日 バンコク在タイ日本大使館での調印式

患者さんにおかれましては、この制度を利用する外国人医師が、当院指導医の指導のもと診療に加わせていただくことがございますが、修練の主旨をご理解いただき、何卒ご協力をお願いできれば幸いです。ご不明な点は主治医もしくは高槻病院研究研修センター事務科車田までご連絡なくお尋ねください。

地域医療連携検討会を開催しました

地域医療部 科長 家山 温子

ディスカッションの様子



11月4日(土)16時～大阪新阪急ホテルで18回目となる高槻病院地域医療連携検討会を開催しました。これは日頃お世話になっている近隣の開業医の先生方、病院関係者、行政の方をお招きして顔の見える関係を築き連携を深めて信頼関係を向上させることを目的に毎年開催しています。ご多忙にもかかわらず総勢205名の方に参加頂きまして、誠にありがとうございました。今年は「高齢者が地域で望む医療を受けるためには～それぞれの立場から～」をテーマに講演、ディスカッションを行いました。

救急搬送でお世話になっている救急隊や、日頃当院からの転院や退院後フォローをして頂いている医療機関を代表してそれぞれの立場から「急性期医療に何を求めているか？」を教えてくださいながら、地域で患者さんを診ていくにはどうすればいいのか、また超高齢社会に向かってそれぞれの立場は何をすればいいのかなどを一緒に検討出来ればとの思いから今年はこのテーマとしました。今後ますます各施設で治療が完結するのではなく、機能分化(急性期、慢性期など)された地域の様々な医療機関で一人の患者さんを診ていくことが重要であり、そのためには地域で行われる多職種連携の会に各医療機関が積極的に参加し、顔の見える関係を作っていくことが必要ではないかとの意見が出され、ディスカッションされました。

今後も地域で患者さんを診ていくことの問題点や情報共有の在り方など、それぞれの患者さんにとってのベストは何か？を共に考えていきたいと思っております。

次 第	
1. 地域医療連携検討会(花の間)16:00～18:00	司会：高槻病院 事務部 部長 安庭 和孝
16:00 開 会	挨拶・近況報告 高槻病院 院長 高岡 秀幸
16:10 地域医療連携検討会	「高齢者が地域で望む医療を受けるためには～それぞれの立場から～」
	座長：高槻病院 地域医療部 部長 岡 隆紀 入退院支援室 室長 植田 みゆき
	「入退院支援室の取り組み」 高槻病院 入退院支援室 科長 池内 純子
	「救急隊の立場から」 高槻消防本部 参事 兼 警防救急課長 松村 賢一様
	「急性期病院の立場から」 高槻消防本部 総合内科 主任部長 筒泉 貴彦
	「地域包括ケア病棟を含む亜急性期病院の立場から」 藍野病院 地域医療連携センター 長 山本 直宗 先生
	「療養型病院の立場から」 ほうせんか病院 院長 岡 博子 先生
	「在宅医療の立場から」 宮田 診療所 院長 高槻市医師会 在宅医療・高齢者対策担当理事 島津 保生 先生
	ディスカッション
17:55 閉 会	挨拶 高槻病院 副院長 土師 誠二

社会医療法人 愛仁会 高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

1. 患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全、公正な医療を適切に受ける権利があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
3. 理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の諾否や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

1. 患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
2. 病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
3. すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるように、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

- 愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
- しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
- しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番3号 ☎072-668-5000
- 愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号
- 訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
- ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882
- ケアプランセンターケーアイ ☎072-687-2536
- ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941
- しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000
- ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875
- ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2941
- 介護老人保健施設ケーアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103
- 介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目4番1号 ☎072-680-3000
- 愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291
- 愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曽部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031